
海の唄(ハヤブサ×アイリーン)

枯葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

海の唄（ハヤブサ×アイリーン）

【Nコード】

N1476B

【作者名】

枯葉

【あらすじ】

FC版「忍者龍剣伝」よりハヤブサ×アイリーンSS。かなりこじつけですみませんが、このカップル好きなんですよー。（ハヤブサ×かすみとかも捨てがたいですが。）アイリーン、是非ともDOAでも何でもいいので登場してほしいですね。

彼女に名前は無かった。

何故なら、彼女は大いなる海の力が生み出した存在、海の守護者だったから。

彼女の姿を見る者がいたらこう言うであろう。

「人魚だ」と。

彼女はその日初めて海の外の世界を見た。

そして一人の男を見た。

一目見て、彼女の心は彼に捕われてしまった。

それから、彼女は来る日も来る日も彼が来るのを待ち続け、彼が来た日には胸をときめかせながら彼を見続けた。

そしてある日、心の中で、彼の心へ向かって念じてしまった。話がしたいと。

それは、掟で禁止されている事だった。

破ると自分は海に溶けて消えてしまう。

だけど、押さえられなかった。

その男――リュウ・ハヤブサは暗い海を見つめながら物思いにふけていた。

すると、不思議な事に誰かが囁きかけて来るような感覚にとらわれた。

「誰だ？」

（私、私、いつも貴方を見ていました。）

それは親友の妹の声のように聞こえ、

もしかしたら彼女の幻術にでもかかったかとかすかに微笑んだ。周囲に悪意や殺意は全くもって感じなかった。

ただ、代わりに寂しさのようなものが満ちているように思えた。

「知っている。」

呟いたハヤブサの脳裏には自分や兄に追い付こうと一生懸命な少女の姿が浮かぶ。

（どんなに努力しても、あなたに近づけない）

「焦らなくていい、時間はある。」

（ありがとう、でも、もう、私には無いの）
「？」

「リュウつたら、またここにいたの？」

くすくすと笑いながら赤茶色の髪、緑の瞳をした綺麗な女が一人、彼の隣に立ったのが見えた。

「アイリーン。」

アイリーンと呼ばれた女は彼の腕に自分の腕を絡ませた。

「彼女」の胸は痛んだ。

「ひよつとして、人魚姫でもいた？」

「人魚？」

「知らないの？人魚姫の話。有名じゃない。」

「ああ、それならば、知っている」

アイリーンはでしょう？と笑う。

「私ね、小さい頃その話が大好きで、何度も聞いたわ。彼女にとても会いたかったの。」

あの不思議な感覚。そう思うのも悪くない。

「人魚か、そうだな。そうかもしれない。」

隼は呟いた。不思議と満ち足りた気分だった。

「私のコードネーム、覚えてる？」

「ああ。シースワローだったか」

「ええ。コードネームを決める時にこの話を思い出して、海にちなんだ名前をつけたかったの。」

でも「マーメイド」は海に縛られているイメージが強いから、それが嫌だったわ」

アイリーンはかつての上官フォスターを思い出しかけて少し顔をし

かめたが、

すぐ考えを振り払った。

「だから、`シースワロー`にしたの。海燕だから、自由に飛び回れるのよ」

隼は微笑んだ。

「ああ、君によく似合ってる」

それから二人は幸せそうに寄り添っていた。

二人の話を聞いていた`彼女`の頬を涙がつたつた。

何故なのか分からない。

でも、心が安らかさで満たされているのを感じた。

そして`彼女`は最後に二人に向かって微笑んで、そして彼らに背を向けて泳ぎ始めた。

分解されて行く体に構わず残る力を振り絞って泳いで…

そして完全に溶けて消えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1476b/>

海の唄(ハヤブサ×アイリーン)

2010年11月24日05時09分発行